

## 定盤チェッカーゲージ

### モデルJSLP-10, JLP-10, J-10 コンパレーター／定盤チェッカーゲージ

ワーク基準面径 3.1～25mm用

ワーク基準面径 2.8～3.1mmの場合は#150-10トップローラーをご使用下さい。

ワーク基準面径 2mm～2.8mmの場合は#145-10トップローラーの使用が必要となります。

ワーク基準面径 2.0mm以下の場合はゼロ径3点ローラーの使用が必要となります。

(詳しくはP16・17・18メインローラー、トップローラーをご参照下さい。)

標準アクセサリ:アームヨーク(#306-01 JSLP-10, #306-02 JLP-10, #306-03 J-10)、

タイミングベルトドライブシステム、メインローラー及びトップローラー

### モデルJ-20 大口径ワーク用コンパレーター／定盤チェッカーゲージ

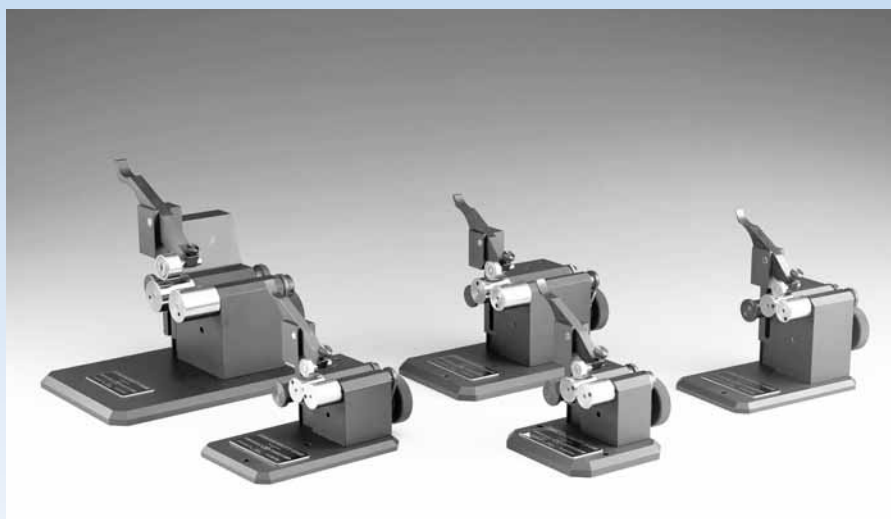
ワーク基準面径 10～50mm用

標準アクセサリ:#306-04アームヨーク、#398-00タイミングベルトドライブシステム、メインローラー及びトップローラー

### モデルJ-40 超大口径ワーク用コンパレーター／定盤チェッカーゲージ

ワーク基準面径 20～102mm用

標準アクセサリ:#306-05アームヨーク、#399-00タイミングベルトドライブシステム、メインローラー及びトップローラー



左からモデルJ-40, JLP-10, J-20, JSLP-10, J-10



拡大投影機で振れの測定(JSLP-10C)

これらのゲージは定盤にテストインジケーター等をマグネットスタンドでセットしてワークの振れ、同心度、直角度等を測定するか拡大投影機、工具顕微鏡等を使用して偏心度、直角度等を測定する様に設計されています。

標準モデルの測定精度は2.5～4ミクロン、精密モデルの測定精度は1.2～1.8ミクロンです。

J型ゲージのアームヨークの取り付け位置は通常のゲージの逆勝手となっておりますが順勝手タイプもご要望があれば可能です。

	ワーク径	高さ+	ゲージ幅 ++	ゲージ重量
<b>JSLP-10</b>	3.1～25mm*	48mm	76mm	1.8kgs
<b>JSLP-10C</b>	3.1～25mm*	48mm	76mm	2.0kgs
<b>JLP-10</b>	3.1～25mm*	48mm	76mm	2.0kgs
<b>J-10</b>	3.1～25mm*	73mm	76mm	2.2kgs
<b>J-20</b>	10～50mm	73mm	86mm	2.8kgs
<b>J-40</b>	20～102mm	76mm	102mm	6.0kgs

+ゲージブロック高さ。(底面よりメインローラー中心位置迄) ++ゲージブロック幅。

\*ワーク基準面径 2.8～3.1mmの場合は#150-10トップローラーをご使用下さい。

ワーク基準面径 2～2.8mmの場合は#145-10トップローラーをご使用下さい。

ワーク基準面径 2mm以下の場合はゼロ径3点ローラーの使用が必要となります。

\*\*J-40型には精密モデル仕様はありません。